

創立73周年  
令和5年度 9月号



# 咲かせよう大正の花

## つなげよう大正の未来

台東区立大正幼稚園

HP: <https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1380011>



### チャレンジの2学期

園長 北村 恵

今年の夏も驚くほど暑い日々が続きました。35度を超える猛暑日の数が過去最多となっているようですが、確か昨年の夏も過去最多という言葉を目にしました。世界中の海水温が毎年上昇しているという報道もあります。持続可能な社会を作るためにも、いま私たちができることは何なのかということ、子供たちに伝えていく必要があると感じた夏休みでした。

暑すぎてプールに入れない日が来るとは、数年前までは想像もしていませんでしたが、7月はプールに入れない日が何日もあり、子供たちはとても残念がっていました。8月の夏季保育は暑さ指数計にとらめっこしながらでしたが、3日間プールに入ることができました。

その中で、1学期は水を怖がっていた年長の子供が、先生や友達と一緒に最後に「ん」のつく言葉（「みかん」や「メロン」など）を言う時に「ん」のタイミングで口をしっかりと閉めて顔を水に付けられるようになっていく姿をたくさん見ることができました。さらに驚いたのは、最初の日には唇までつけるのがやっとだったA君が、3日目には水の中で蹴伸びができるまでになったことです。担任の先生たちは、一人一人の1回ごとのチャレンジを丁寧に見取り、本人の頑張ったこと、工夫したこと、チャレンジしたことなどを言葉にして伝えていました。それは、周りの幼児も聞いているので、「自分はどうしてみよう」と考えて、毎回毎回チャレンジする姿がたくさん見られました。チャレンジしたことを褒められることも喜びとなり、「もう一回試してみよう」「頑張ってみよう」という姿に繋がっていました。夏季保育の3日間、どの学年の子供たちも褒める言葉をたくさんかけてもらい、自信にあふれた笑顔を見せていました。さらに、頑張ったことが自信になったのか、おやつのスイカを食べる時に「苦手なんだよね～」と言っていた年長児のBちゃんがおかわりまでして、食べる姿も見られて嬉しくなりました。

1学期の終業式で出した、「自分で出来ることは自分でしよう」「お手伝いをしよう」「夏野菜をたべよう」という3つの宿題はチャレンジ出来ましたか？年少児のCちゃんが、プールの着替えの時に「自分のことは自分でするんだもん」と言っていたのを聞きました。お家でもきっと保護者の方が伝えてくださっていたからだと思います。

2学期は、運動会、生活発表会などの大きな行事の他、3歳児にとっては初めて自分たちだけで行く遠足もあります。一人一人チャレンジしたいこと、頑張りたいことは違うと思いますが、個々の思いを汲み取りながら、少し難しいことでも自分がやりたいと思ったことを、あきらめずに最後までやり遂げられるよう、支えていきたいと思っています。そして、一人一人の笑顔が輝く2学期にしていきたいと思っています。